



旭中通信

練馬区立旭丘中学校

学校通信 12月号

令和2年12月1日発行

やさしい心が一番大切だよ

校長 渡邊 重幸

本校では毎年「命の授業」を行っています。今年度は11月19日(木)にジェントルハートプロジェクトの小森美登里さんに講演していただきました。小森さんの一人娘の香澄さんは心への暴力(言葉によるいじめ)を受け、死へ追い詰められました。

香澄さんは、小学生の時からあこがれていた吹奏楽部に入部するために、ある高校へ進学しました。入学後、3か月半もいじめ続けられました。担任の先生は香澄さんの所属している吹奏楽部の顧問でもありました。いじめている生徒は同じクラス、同じ部活動でした。担任の先生が部活動の顧問でもあり少し安心したのですが、香澄さんは元気になりませんでした。その後、青少年相談センターへも相談に行きました。香澄さんは相談員の先生を「スポンジみたいな先生」と表現するほど、自分の思いをすべて受け止めるやさしい先生だったそうです。その時は少し元気になったのですが、また辛そうな香澄さんに戻ったそうです。メンタルクリニックにも行き安定剤も飲みました。しかし、香澄さんは元気になることはなく、自死行為をしたのです。

小森さんは大きな勘違いをしたことに気付きました。いくら香澄さんがその苦しみや悲しみを誰かに話しても、薬を几帳面に飲み続けても元気にはなりません。「いじめ」はいじめている子が、その行為の卑劣さと、相手の心の深い傷を理解して、いじめを止めてくれなければ、いじめられている子を救い出すことができないということ。

その後、いじめのない社会を目指して、ジェントルハートプロジェクトを立ち上げ、全国で講演会などの活動を行っています。演題は「やさしい心が一番大切だよ」でした。この言葉は、香澄さんが美登里さんに託した言葉でした。最後に、「生まれてきてくれてありがとう」という詩を貴志教諭から読んでもらい、講演会を終わりました。

生徒もいつも以上に真剣に聞いていました。中には、涙を流していた男子生徒もいました。また、最初からハンカチで目頭を押さえていた保護者の方々もいらっしやいました。改めて、いじめのない学校、笑顔あふれる学校を皆で作り上げていかなければいけないと思いました。

ジェントルハートプロジェクトのホームページに、

- ・絵本「うまれてきてくれてありがとう」
- ・香澄さんがお父さんのパソコンに入れていた詩を「窓の外には～優しい心が一番大切だよ～」という歌にしましたので、ご覧いただければ幸いです。



＜大藏流狂言教室＞

11月2日(月)に全校対象に大藏流狂言教室が行われました。狂言の演目はおよそ180もあり、その全ての演目が人間の本質をテーマにしているそうです。室町時代から650年もの間受け継がれてきた日本の伝統芸能の歴史の重みも感じることができました。

この狂言教室は文化庁が主催する文化芸術による子供育成総合事業の一環として行っているもので、9月10日(木)には事前に1年生と3年生に対して、狂言師大藏流狂言方の大藏基誠さんとそのお弟子さんの富田昌美さんにお越しいただき、大藏流狂言のワークショップを行いました。代表的な演目の1つである「盆山」を、どんな場面なのか、登場人物はどんな人なのか等の解説を受けながら鑑賞しました。その後、礼儀作法の体験では、美しい正座の仕方、礼の仕方、立ち方や狂言の基本姿勢を教えていただきました。

2日当日も、大藏基誠さんとたくさんのお弟子さんに来ていただき、狂言についての説明があり、その後全員で狂言を鑑賞しました。タイトルは「附子」と「柿山伏」です。

その後生徒が実際に舞台上がって狂言の立ち方や、すり足といった歩き方を体験しました。

最後に、狂言を学ぶ理由についての話を聞いたり、「発声練習はどうしているのか」や「劇中の言葉はどのような意味だったのか」などの生徒の質問に答えていただいたり、生徒にとって有意義な時間となりました。



＜あすチャレ！＞

11月12日(木)に1年生とD組を対象に「あすチャレ！ジュニアアカデミー」(プログラム提供：日本財団パラリンピックサポートセンター)を行いました。

講師として1988年のソウルパラリンピックの陸上「スラローム」の金メダリストの永尾由美先生にお越しいただきました。「スラローム」とは車いすの操作テクニックを競う種目で、前進や後進を繰り返して、規定のコースをどれだけ早くゴールできるかタイムで順位が決まります。最初に、永尾先生から生い立ちや障がいの経緯、パラスポーツとの出会い、車いすでの生活についてお話しいただきました。永尾さんレベルになると段差のあるマットもスイスイ進めます。

後半では視覚障がい・聴覚障がいについて、実際に目をつぶってジャンケンをしたりジェスチャーをしたりして障がい者への理解を深めました。

最後に一人一人が「あすチャレ！宣言」をし、挑戦することの大切さを学びました。

